

子どもたちの微笑ましい場面1



かぜ組さんで出会ったのは、女の子が泣いているお友達を、「よしよし」と頭を撫でてあげました。泣き止んだ子は、にっこりしてハグしました。心が温まる光景です。かぜ組さんの子ども達も、周りをいたわる心、相手に感謝する心をお友達や先生と生活する中で学んでいるようです。とても大切な感情だと思います。

子どもたちの微笑ましい場面2



にし組で初めて「しぜん」の時間がありました。花を使って色水を作りました。「ぶどうの匂いだ」「花の匂いだ」感受性豊かな表現でした。園庭の柵を修理した時も、「バニラの匂いがする」「チョコレートの匂いだ」等感じた匂いを伝えていました。私たちは環境を整え子ども自身の関わりを支援します。

〈大切にしたい考え方〉

- 子どもの主体性を高める幼児教育
- 興味関心を大きくする環境構成
- 生活の場としての園生活

ひまわり3

元気な子どもたちとともに

〈教育目標〉

元気で思いやりのある
ひまわりっ子

〈職員目標〉

- チームワーク
- 主体性を育む保育
- 資質向上

子どもたちの微笑ましい場面3

「ことば」の時間では、ことばやことばの使い方等について学びます。先日「面倒くさい」「しおかないな」などネガティブな言葉が聞かれたので、講師の先生が、「ぼかぼか言葉」「ちくちく言葉」を教して下さいました。直後、部屋から出ていけの言葉に、その言葉、ちくちく言葉と聞くと、「下において下さい」と丁寧な言葉になりました。教えていただいたことを考えてくれたんだと嬉しくなりました。



子どもたちの微笑ましい場面4



1階テラスに滑り台が置いてあります。卒園児の保護者から使って下さいといただいたものです。設置当初から、子ども達に大人気で毎日使われています。滑ったり、登ったり、譲り合ったり、様々な体の動きを体験したり、健康な心と体をつくるのにとても役に立っています。子ども達の遊びの基地として、これからも大切に使っていきます。ありがとうございました。